

キーワード集

ディブック *דיבוק*

ユダヤの民間信仰における悪霊のこと、ユダヤ教神秘主義カバラの著作に記述された「ギルグル」（「輪廻」ないし「転生」の意）と呼ばれる観念に由来する。天寿を全うせずに亡くなり、地上で犯した罪が浄化されないまま地上を彷徨っていた魂が生者の肉体に憑依して災いをもたらすと信じられた。ディブック伝説の多くに共通するのは、適齢期のユダヤ人女性が男性に取り憑かれて暴れ出したのを機に、カバラの秘儀に通曉したラビが悪霊を祓い除けるというモチーフである。

カバラ *הקבלה*

「伝承」を意味するユダヤ教神秘主義の思想と実践の体系。世界の創造を、無現なる神性エイン・ソフから聖性が10段階にわたって流出する過程と捉え、その聖性の最終的な形がこの物質世界であると解釈する。この過程は、10個の「球(セフィラ)」と22本の「小径」から構成された「生命の樹」と呼ばれる象徴図で示され、各球に神の属性が宿るとされる。その理論は16世紀パレスチナのカバリスト、イサク・ルリアが「収縮」「器の破壊」「修復」の三段階から成る壮大な宇宙論として発展させ、ユダヤ教敬虔派ハシディズムを受け継がれた。

「収縮」(צמצום)、「器の破壊」(שברית הכלים)、「修復」(תיקון)

「無限なる神性エイン・ソフは、すべてに偏満し、被造物が創造される時空間は存在しなかった。そこで、神性は自身へと自己収縮し、創造のための空間を造る。ここに神の意志である光が照射され、神性が段階的に流出して、巨大な原人アダム・カドモンが形成されていくが、この創造の光を盛る器は耐えかねて破裂し、光は天界へ戻ってしまう。しかし破片に取り残された光の火花は、破片とともに落下して、別の世界、惡の世界を生み出す。そこへ絶えず、神の光線が照射されて、囚われの火花を救出し、創造の完成をめざそうとする。囚われの火花は、ユダヤ人の体内にも入った。ここにユダヤ人は、自らの魂を浄化することで、火花を天の世界へ回復させる責務が課せられたのである。」(市川裕『ユダヤ教の歴史』)

ハシディズム(ユダヤ教敬虔派) *חסידות*

ルリア・カバラの影響を受けて、18世紀中葉に現在のウクライナで誕生したユダヤ教の刷新運動。「敬虔なる者」という意味の「ハシッド」に由来。遍歴の札売りで奇跡使いと信じられた「善き神名の主(バアル・シェム・トヴ)」ことイスラエル・ベン=エリエゼル(1700-1760)によって創始され、タルムードの学習に偏重したラビ・ユダヤ教のエリート主義を批判し、無学な者も祈り、歌、踊りといった日常的な所作を通じて神に近づけるという教えがユダヤ人大衆を惹きつけた。義人(ツアディク)と呼ばれるカリスマ的な導師たちを中心に東欧一帯に広がったその独特的の教えは、マルティン・ブーバーやエリ・ヴィーゼルらの著作を通してユダヤ人社会には留まらない幅広い関心と影響を生んできた。

義人(ツアディク) *צדיק*

元来は、『旧約聖書』のノアやヨセフなどの神と人の前で義しい行いをしたとされる特別な人物のことを指す。東欧ユダヤ社会の文脈では、ハシディズムの開祖バアル・シェム・トヴの直系の末裔が弟子の系譜に連なるカリスマ的導師のことを指す。神と人との間を仲介する人物とされ、しばしば奇跡を行なう神通力の持ち主と信じられた。律法学者であるラビと区別して「レベ」という呼称で親しまれ、「善きユダヤ人」とも呼ばれる。

ニグン *ניגון*

ヘブライ語で「旋律」の意。ハシディズムではことに音楽が尊ばれ、神への専心を目的として、安息日などの祝祭の度に、レベを囲んだ宴や日々の祈祷の合間に各流派に伝わる特別な旋律が歌われる。そうした旋律の中にはレベ自身によって作曲されたものもあるが、羊飼いなどが口ずさむスラヴの民謡の旋律から借用されたケースも珍しくなかったと言われる。ニグンの多くには歌詞がないが、詩編などからとられた短い歌詞つきのものもある。その旋律の多くは東欧ユダヤ民俗音楽クレズマーのレパートリーに取り入れられてきた。



エフライム・モシエ・リリエン作『ディブック』(1908)



18世紀のカバラの書『光の門』の表紙



実践カバラの手引き書『天使ラジエルの書』



ハシッドたち(ナタン・アルトマンの衣装デザイン)



アズリエル師(ナタン・アルトマンの衣装デザイン)

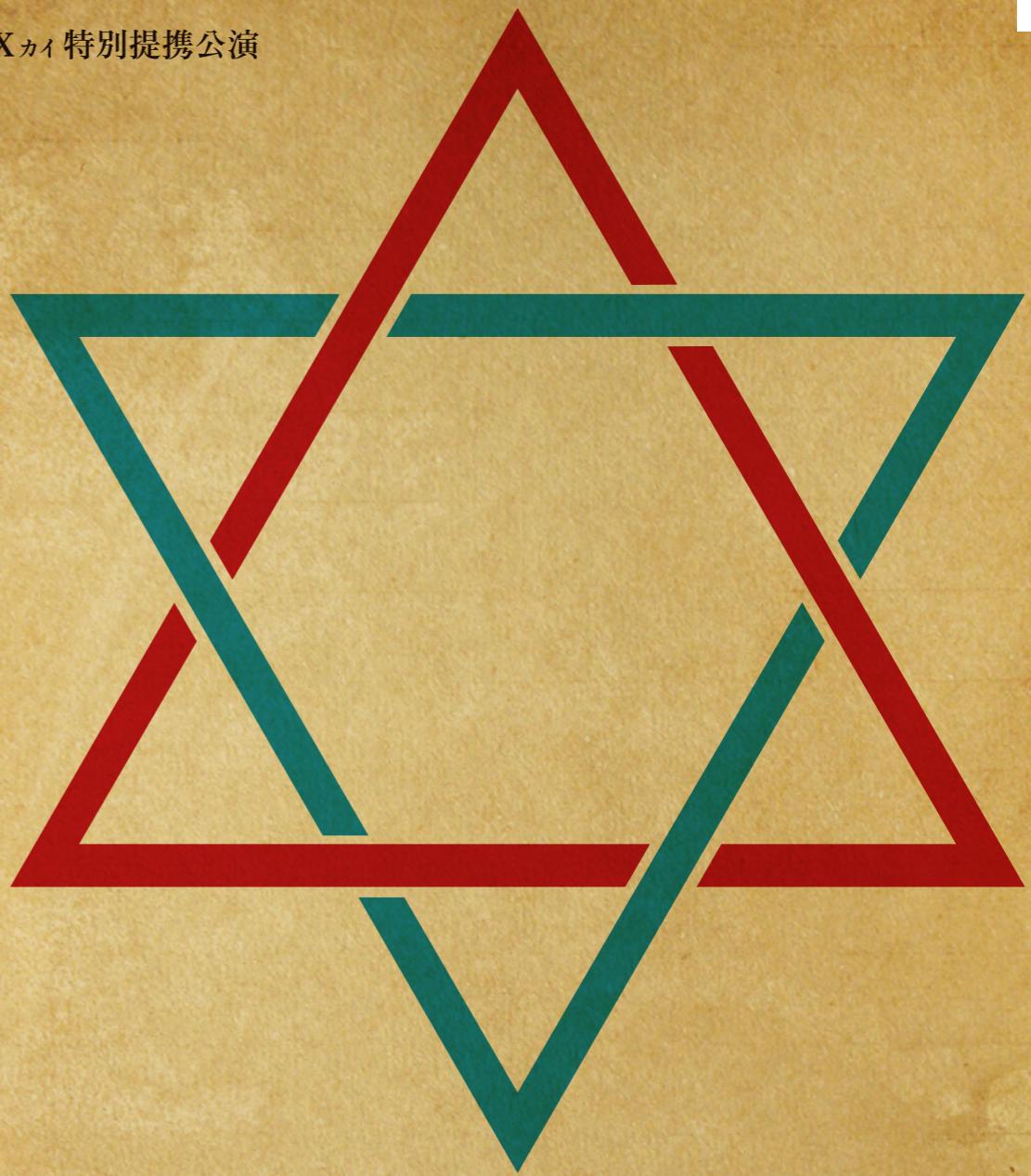


イサハル・ルイバク作『樂師たち』(1917)

ポーランド文学古典叢書 第5巻

西成彦編『ディブック/イヴォナ』(未知谷)刊行記念企画

シアターXカイ特別提携公演



S・アン=スキ作

ディブック

二つの世界のはざまで

צווישן צוועי וועלטן (דער דיבוק)

日時：2016年2月4日(木)／5日(金)
18:00～20:45(開場は開演の30分前)

劇場：東京・両国 シアターXカイ

参加費：無料

第1部 | 解説：「『ディブック』の文化的背景について」
演奏会：「東欧ユダヤ音楽とハシディズムの旋律」

第2部 | 朗読劇：『ディブック——二つの世界のはざまで』